

「体験型」交通安全教育機器

山形県警察で実施している、4種類の交通安全教育機器を紹介します♪
全て無料ですので、是非ご利用下さい！



1 交通安全ゆとり号（運転者用）

マイクロバスの車内で、車の運転に関するテストを行い、注意力や判断力を診断します。

あなたの運転能力は、同年代の平均と比べると、どんな結果になるのでしょうか？
お試しください！



2 動画KYT（運転者用）



K（危険）・Y（予測）・T（トレーニング）の略称。
スクリーンの画面を見ながら、その中に隠れている危険を探し、みんなでディスカッション。

仲間とのコミュニケーションを図るとともに、瞬時の認知力・判断力・危険予測能力が高まります。

最大20名が同時受講できる上、ソーシャルディスタンスにも配慮した開催が可能！

3 わたりジョーズ君（歩行者用）

画面を見ながら、安全な横断歩道の渡り方を体験できます。

足踏みをするだけなので、機械に慣れていない方も簡単に体験できます。

横断歩道を安全に渡れるかどうか、ぜひお試しください！



4 危険予測シミュレーター（歩行者用）



画面に映った街並みの中、横断歩道や歩道で交通事故に遭わないように歩行しましょう。

様々な危険が潜む街で、危険を察知し、交通事故に遭わずに目的地まで行けるのか・・・

ドライバーも、歩行者目線の体験を行うことで歩行者の気持ちがわかり、やさしい運転につながります。

☆ 申込みはこちら ☆

最寄りの警察署まで電話の上、「交通安全教育機器の申込み」とお伝え下さい。

担当者が、日程等の詳細をお聞かせ頂いた後、機器の予約を行います。
県内各地域で予約殺到中！あなたの地域に交通安全をお届けします！